

# 頑張れ店長

## あなたの老後は

進行する高齢社会、あてにならない年金、下流老人の増加など、将来は不安だらけ。誰もがいずれ老後を迎えます。あなたはそのとき、どんな暮らしをしているか考えたことはありませんか。ずっと先のことかもしれませんが、そのための準備をするのに早すぎることはありません。店長さんたちはどう考えているのか、本音を聞いてみました。

### 50代でペンション建て

「独身のときは老後のことを考えたことはありませんでしたが、結婚して子どもができると考えるようになってきました。今の時代は定年まで働いて、後は年金暮らしというわけにはいかないのです、50代になつたら実家の近くにペンションを建てて、お客さんの世話をして暮らそうと妻と話し合っています。妻は農家出身なので小さな土地を

借りて野菜を育て、私は料理が好きなのでそれを調理して出したいですね。目下、そのための資金を貯めているところです」（関東・A店長）

ホール店長もペンション・オーナーもどちらも接客業。どうしたらお客様に喜んでいただけるかを考えるのは楽しい、とA店長は言います。

### 株の実績さらに増やし

「老後の生活設計ですか…。具体的に考えたことはありませんが、先立つものはカネということ、株式投資をやっています。パチンコも株式投資もゲームですから、ルールや定石、波のサイクルなどを覚えれば、勝つ確率はけっこう高いですよ。始めて3年ほどですが、300万円の資金を1000万円に増やしました。この調子で頑張れば、年金をアテにしなくて

も老後の暮らしは何とかかなると思っています」（中部・B店長）  
株式投資を始めてからは世間の動向に敏感になり、それがホール営業にも生かせると言います。

### 天引き、退職金で大丈夫

「うちの会社は従業員の面倒見がよくて、給料から天引きで財形貯蓄をやっているし、退職金も世間並みに支給されます。実際、定年退職した先輩が店に遊びに来ますが、好きな釣りや旅行を楽しんでいるようです。私も定年まで働くつもりで、老後の生活資金はそんなに心配していません」（関東・C店長）

Cさんは地方都市の郊外で今も田畑をやっている両親と3世代同居の暮らし。都会暮らしと違い、贅沢をしなければおカネはそんなに必要ないと言います。

### 余裕ないから実家で農業

「老後の生活を考えると不安ですね。住んでいるのは賃貸マンションで、貯金もさほどありません。

## 店長からの投稿

### 転職していく者は勢いのある産業へ苦労が続く人事部

入社2~4年の社員がよく退職します。入社5年までにおよそ半数が辞めていきますね。転職先がわかる範囲で言うと、最近は不動産業界やIT業界が多いですね。昨年は変わり種で、青年海外協力隊に採用された入社3年目の社員がいました。3年間行ってくるが、ホールの仕事が好きなので戻ったら復職したいと言います。私から人事部に掛け合って、復職OKを出してもらいました。4、5年前は飲食業界やテレビの制作会社が多かったのですが、その時代に勢いがあるところに行く人が多いですね。わが業界は5、6年前には新卒の応募が活発でしたが、最近はだいぶ減り、人事部は優秀な人材を確保するのに採用に苦労しているようです。（関東・店長）



国どこにもあるので職を見つけるのは困らないでしょう。実家には農地があるので、農業をやってもいいかなと考えています」（中部・D店長）

老後の人生設計を明瞭に描いている人は意外に少ないようです。しかし、そのときになって慌ててもできることは限られてしまうので、なるべく早く準備しておきたいものです。

## パン屋開く場所探しで

「50代半ばまで今の会社で働いて、その後は移住して農業でもやりながら暮らそうと思っています。妻はパンをつくるのが好きなので、地元でパン屋を開きたいと言います。そのための準備を兼ねて、家族旅行では移住候補地を回っています。移住する頃は子どもが自立しているでしょうから、妻と2人暮らしになります。妻は寒いのが苦手なので温かいところがいいと言うし、私はスキーが好きなので雪が降るところに移り住みたいので、なかなか話がまとまりません」（関東・E店長）

老後は移住を考えている人が少なくないようです。そこで農業な

りパンづくりなり、自分の好きなことをやって第2の人生を送るのも楽しいかもしれません。

## まだ若いので1億円目標

「30代半ばで独身、気楽な身なので老後のことを真剣に考えたことはありませんが、働けなくなったときのことを考えて貯蓄に精を出しています。幸い店長ともなると給料がいいので、1億円は貯めたいと思っています。老後は山村で自給自足の暮らしをするのもいいし、キャンピングカーで日本のあちこちを回るのもいい。生活費の安い東南アジアなどに移住して暮らす手もあるから、夢を膨らませています」（中部・F店長）

F店長が独身なのは、誰にも束縛されずに自分の好きなように暮らしたいからだそうです。老後はますます自由な暮らしになりそうです。

## 資金OK、歩いて健康を

「生まれ育った家で母親、妻子と一緒に暮らしていますが、将来、私が仕事を辞めたら子どもに代わって、好きな絵を描いて暮らしたいですね。不動産がけっこうあ

るので老後の不安は生活資金ではなく健康に関することです。というのも、父親が50代で脳いっ血を起こして亡くなっていて、私も血圧が高いので健康には人一倍気を遣っています。健康法はとにかく歩くこと。万歩計をベルトに付けて、1日に1万歩以上歩くことにしています。車で通勤し、事務所でデスクワークをしていたら1日に3000歩程度で終わってしまいうので、足りない分はフロア回りで補っています。店長の私がフロア回りをすると、若いスタッフは気が抜けないようで、テキパキ動

く効果があります。おかげでこの10年は体重が変わらず、風邪一つひいたことがありません」（近畿・G店長）

何よりも大切なのが健康。年齢を重ねにつれて、放っておけば体のあちこちに不具合が出てきますが、ウォーキングやジョギングなど努力すれば健康は維持できるようです。

いざれ迎える老後の暮らし。何の準備もしなければ不安が募るだけですが、夢を持ってそのための準備をしておけば、幸福な老後が待ち遠しくなるかもしれません。

## 「日遊協」で検索！

The screenshot shows the homepage of NICHUYUKYO (Japan Amusement Industry Association). The header includes the logo and name. A main banner features a bird and text about fan magazines and web media. Below, there are several news items and event listings, including 'Annual Meeting and Exchange Meeting' and 'New Year Schedule Release'. A circular badge at the bottom right says '日遊協 ホームページ 更新情報' (NICHUYUKYO Homepage Update Information).